

連帯のメッセージ

JAL 不当解雇撤回闘争原告団の皆さんには、東京地裁不当判決のなかでも不屈の闘いを繰り広げていることに連帯の意を表します。

安倍政権は労働者・国民を犠牲にした企業優遇の政策を言葉巧みに進めています。

労働運動の低迷するなか人間らしく働き、生き続ける条件は奪われ続け、貧困格差はますます広がっています。

そのような状況のなかで極めて意図的に行われた JAL 労働者の解雇はものを言う労働者の末路（首切り）を多くの労働者に見せつけ、多くの労働組合は企業の飼い犬と化してしまいました。

今、労働組合に対する世論の評価は実際には中身が何もありませんが、厳しく批判的です。

そのなかで、労働者の解雇は、不当労働行為は許さない、と闘いに立ち上がった JAL 原告団の闘いの意義は大きいものです。

国鉄闘争同様に政治的社会的に大きな問題だけにその判決も極めて権力の意向を反映した不当な判決でしたが、高裁の逆転勝利を勝ち取り一日も早い職場復帰勝ち取らなければなりません。

解雇撤回・原職復帰に向けて、千葉県市原の地からも微力ではありますが、連帯・共闘するものです。

JAL 闘争を支えるいちはらの会
代 表 中村 美彦
(市原地区労働組合協議会議長)